

学 年 6年 3組

氏 名木下結

住 所 北佐久郡軽井沢町長倉3734

電 話 0267-45-5189

学校名 軽井沢中部小学校

メールアドレス 中山 nakayama-atsushi@sakuedu.or.jp

題 名冬の節電

本文冬は寒くて、朝起きた時や、家に帰ってきた時はすぐにヒーターなどを付けます。とても寒い。早く温まりたい。だからといって電気を大量に使っていいわけではありません。ヒーターと暖房をつけ、お湯を出す。「これで快適に過ごせる！」さて、電気代はどうなるでしょう。どうやら夕方から夜にかけて最も多く電気を消費している家電は、エアコンが30%、暖房にガスや石油のストーブを使う家庭は照明19%という結果が出ているそうです。温度設定や、定期的な掃除を心がけてみてはどうでしょうか。冬だと政府は室温20度を推奨しているようです。エアコン以外に扇風機やサーキュレーターをつかう方法があるみたいです。「扇風機を使っただけで暖かくなるの？」と思う人もいるでしょう。暖かい空気は上に行く性質があるので、扇風機やサーキュレーターを天井に向けて回すと、部屋全体がむらなく温まるそうです。「もう使わないでしょ。」と倉庫に扇風機とサーキュレーターをしまった人は、面倒くさくても出してきてこの方法を試してみるのもありかもしれません。しかし、寒いけどヒーターとエアコンがない。という人も多分いるでしょう。暖かい家電が少ない。ならば、機械を使うのではなく、自分があったかくなればいい。寒い冬を乗り越えるための基本である厚着をするのです。そんなに服ないよという人は保温性の高い衣類を着ましょう。首の付く部位を保温すると、血流がよくなり、全身が温まりやすくなるらしいです。一般的に暖房の設定温度を1°C低くすると、約10%の電力を節約できるらしいです。機械に頼らず暖かくなりたい！という人は、厚着をしましょう。最初に定期的な掃除を心がけてみてはといいましたが、それは、エアコンのフィルターに埃がたまって目詰まりを起こすと、暖房確率が落ちて約5%~10%の電力が無駄になるそうです。2週間に一度は掃除機でほこりを吸って、汚れがひどければ専用クリーナーなどで洗い流しましょう。ちなみに室外機の吸込口、吹出口がふさがれているのもだめらしいのでこまめにチェックしましょう。このように、いろいろな節電方法があるので、お金にやさしく安全に冬を乗り越えましょう。